

ラズベリーの新しい栽培技術の開発

雨よけを利用したラズベリーの安定生産と能率的な整枝方法

園芸栽培部 果樹チーム TEL:022-383-8134

研究の目的

ラズベリーは梅雨時期(6~7月)と秋(10~11月)の年2回収穫できますが、梅雨期の降雨による腐敗果や収穫時の作業性に問題がありました。そこで、安定的かつ能率的なラズベリーの栽培技術を開発しました。

研究成果



雨よけ被覆をすることにより、露地栽培で問題となる腐敗果の発生を約1%に抑えることができ、商品果率も90%以上となって、天候に左右されにくい果実生産が可能となりました。



夏果の結果母枝をI字状に配置する「I字整枝」はV字状に配置する「V字整枝」に比べ、結実部位が揃い、収穫にかかる労力を約2~4割が軽減できました。



写真上：収穫期のラズベリー

写真右：雨よけハウス内での栽培状況

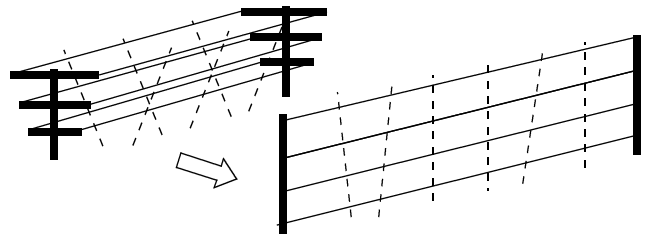


図1 結果母枝の配置模式図

太線：支柱 細線：番線 点線：結果母枝
左図：V字整枝 右図：I字整枝



普及等の見込

今回の研究によって、宮城県で安定したラズベリー栽培が可能であることが示され、これから新規果樹品目としてさらに広く普及していくことが期待されます。詳しい成果に関しては、お問い合わせをいただきますか、普及に移す技術を参考にしてください。